

平成28年度 飛騒市の本格予算 一般会計 174億5,732万円

特集

会計区分	本格予算額	対前年比
一般会計	174億5,732万円	△0.9%
特別会計	84億5,161万円	△4.4%
企業会計	27億7,305万円	10.3%
総 額	286億8,198万円	△1.0%

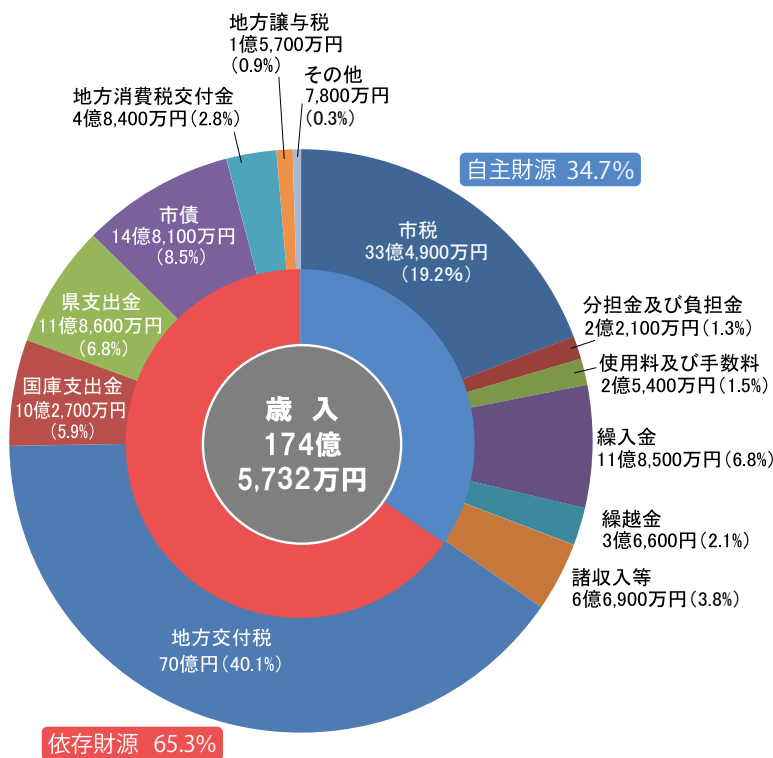
平成28年第3回飛騒市議会定例会が6月16日から開かれ、各会計の補正予算が上程、審議され可決されました。

当初予算は、新市長就任直後であり政策的な予算を組み立てる時間がなかったことから「骨格予算」として編成していました。

今回、新たな市政運営を実現するための政策的経費や、市長就任後、市内17箇所で行われた市民との意見交換会で見出された課題のうち、早期に着手すべき事業や重点的に実施すべき施策を中心に肉付け予算を編成しました。

「元気で、あんな、誇りの持てる ふるさと飛騒市」の創造を目指し、一般会計総額9億732万円を増額し、174億5,732万円の本格予算となりました。

●一般会計歳入



●特別会計・企業会計予算

会計区分・会計名	当初予算	6月補正	補正後予算額
特別会計	84億5,600万円	△439万円	84億5,161万円
国民健康保険	31億9,440万円	△466万円	31億8,974万円
後期高齢者医療	3億7,650万円	—	3億7,650万円
介護保険	31億1,400万円	628万円	31億2,028万円
公共下水道事業	9億1,400万円	△300万円	9億1,100万円
特定環境保全公共下水道事業	1億8,500万円	△200万円	1億8,300万円
農村下水道事業	3億1,800万円	△100万円	3億1,700万円
個別排水処理施設事業	1,750万円	—	1,750万円
下水道汚泥処理事業	1億5,900万円	—	1億5,900万円
駐車場事業	600万円	—	600万円
情報施設	1億3,500万円	—	1億3,500万円
給食費	3,660万円	—	3,660万円
公営企業会計	27億4,088万円	3,217万円	27億7,305万円
水道事業	7億7,405万円	185万円	7億7,589万円
国民健康保険病院事業	19億6,684万円	3,032万円	19億9,716万円

※四捨五入のため縦横計が一致しない場合があります

●補正予算財源の考え方

今回の一般会計補正予算（肉付け予算）の補正財源となる歳入については、前年度決算剰余金や市税の上振れ、交付税措置のある有利な起債を活用し、健全財政の維持に努めています。

■市税

課税評価額の確定により固定資産税3千万円の増、軽自動車課税台数の確定により5百万円の増を見込みました。

■国庫支出金

要望していた公共土木事業の国庫補助金の内示が大きく減額されたこと等により1億4千4百万円の減額となります。

■県支出金

前年度の農業用施設災害復旧に対する補助金7千6百万円、老人福祉施設整備事業補助金（地域密着型サービス等整備事業費補助金）3千8百万円など、1億2千5百万円を見込みました。

■繰入金

財政調整基金からの繰入金6億円。これは、今後の和光園等の福祉施設整備財源に充てるため、平成27年度決算剰余金積立相当額を福祉事業基金に積み替えるものです。

■市債
交付税措置の高い有利な起債を選択し、池ヶ原湿原遊歩道整備や古川町市街地観光サイン整備などに合併特例債1億1千9百万円、市民生活に密着した生活道路等の改修などに過疎対策事業債3千8百万円、消防防災ヘリポート整備に緊急防災・減災事業債3千6百万円などを計上し、今回の補正による起債額は1億9千430万円の追加となり、平成28年度起債予定額は16億2千360万円となります。

●歳出予算の概要
■総務費
スーパーカミオカンデ等の研究内容を展示紹介する施設整備に向けた調査・検討事業に1千2百万円、個人市民税の1%を目安とした小さなまちづくり応援事業に1千万円、レールマウンテンバイク関連の旧神岡鉄道利活用検討事業に8百万円、まちづくり支援や地域活性化支援のための地域おこし協力隊事業に8百万円などを予算計上しました。

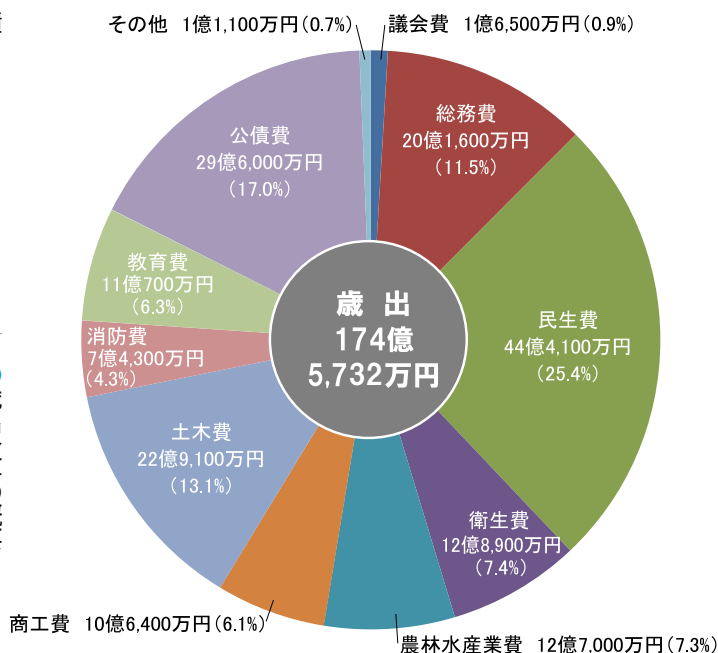
■民生費
今後の和光園等の大型投資事業に備えるため、福祉事業基金積立金に6億円、民間事業者による老人・障がい者福祉施設の内誘致に向けた施設整備補助金に4千8百万円、特別養護老人ホームの介護ロボット導入モデル事業に3百万円、市内特別養護老人ホームの夜勤者処遇改善臨時交付金などの介護人材確保事業に8百万円、新たに開始する病児・病後児保育委託事業に9百万円などを予算計上しました。

■衛生費
飛騨市クリーンセンターの安全対策事業として敷地内への防火水槽整備等9百万円などを予算計上しました。

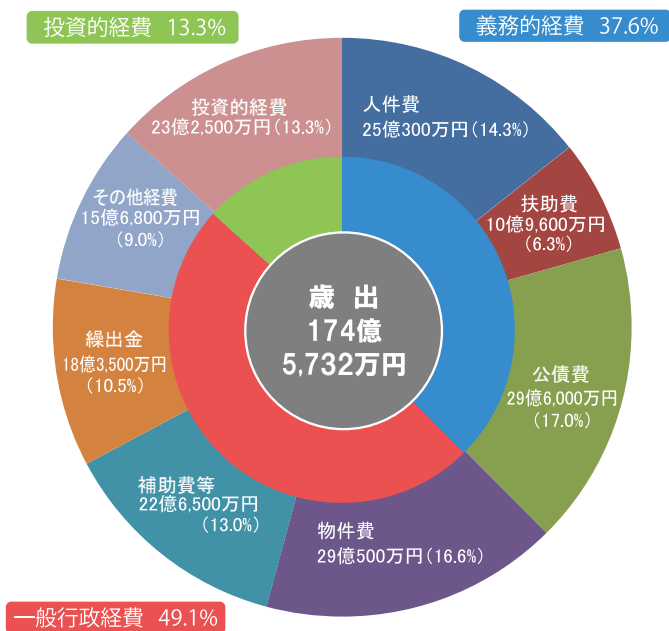
■農林水産業費
飛騨エゴマの里推進プロジェクト事業7百万円、安峰山展望台バリアフリー歩道設置事業1百万円などを予算計上しました。

■商工費
中小企業を全面的に支援する（仮称）「飛騨市ビジネスサポートセンター」開設に向けたセミナー開催経費2百万円、企業就

●一般会計歳出（目的別）



●一般会計歳出（性質別）



職情報発信事業3百万円、市独自の特産品認定制度創設のための検討事業に1百万円、中心市街地店舗拡大促進事業3百万円、古川町中心市街地観光サイン整備事業5千4百万円、池ヶ原湿原遊歩道整備事業7千1百万円などを予算計上しました。

■土木費

国庫補助事業の一部不採択に伴い当初予定していた建設事業費のうち2億6千万円を減額しましたが、市単独建設事業を拡充し市民生活に密着した生活道路等の緊急整備事業に2億円、スーパーカミオカンデ等の研究施設へのアクセス道路である市道跡津川線調査設計事業や橋梁保全整備計画策定事業等に2千万円を予算計上しました。

■消防費

飛騨市民病院から県内外の専門病院への救急患者の転院搬送にも活用する消防防災ヘリポート整備事業3千6百万円、消防団員退職報奨金2千3百万円などを予算計上しました。

■教育費

ふるさと教育推進事業5百万円、「古川祭の起し太鼓・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録推進事業3百万円などを予算計上しました。

～元気で、あんな、誇りの持てる ふるさと飛騨市～

強みを活かした元気な飛騨市づくり

飛騨市の持てる地域資源や地元企業、商店等の力を伸ばし、交流人口を増やし、販路を拡大する政策に取り組めます

平成28年度本格予算の

主 要 事 業

主な事業の概要と
予算額を紹介します

【新規】飛騨エゴマの里推進プロジェクト事業 780万円

飛騨エゴマ（飛系アルプス1号）の生産出荷拡大補助、ブランドロゴの製作と商標登録などを通じて、地元産品のブランド化を強化する。

【新規】小さなまちづくり応援事業 1,030万円

個人市民税の1%を原資とした「小さなまちづくり応援助成金」制度を創設し、まちづくり活動の発表をかねたコンペ形式を取り入れるなどの工夫を行いながら、まちづくり活動の活性化を図る。

【拡充】地域おこし協力隊活用事業 840万円

「まちづくり協議会」の活動の見直しと体制強化を図るとともに、地域住民と連携した地域活性化支援を行ってもらう「地域おこし協力隊」を新たに3人任用し、まちづくり活動の支援や地域力の維持・強化を図る。

【新規】「(仮称)飛騨市体験博」開催準備事業 400万円

飛騨市の魅力を体験できるプログラムの創出とPRを行う「(仮称)飛騨市体験博」の実施に向けた体制整備を図る。

【拡充】まちなか観光案内所開設事業 280万円

古川町中心市街地の空き店舗を活用し、外国人観光客の誘客拡大に向けて「まちなか観光案内所」を開設する。

【拡充】古川町中心市街地観光サイン整備事業 5,400万円

古川町中心市街地の外国語を併記した観光サインを一新し、良質な町並み景観の創出、観光客の滞在時間の延長を図る。

【新規】ビジネスサポートセンター開設準備事業 160万円

市内の中小企業の売上げ向上に向けた寄り添い型の相談支援を行う「(仮称)飛騨市ビジネスサポートセンター」の開設を目指し、行政・商工団体・事業者等のセミナーを開催する。

【新規】企業就職情報発信事業 300万円

市内企業情報を魅力的に発信するため、既存の企業紹介ウェブサイトのリニューアルと、ウェブサイトと関連する高校生向けの就職総合情報誌を作成する。

【新規】中心市街地店舗拡大促進補助事業 300万円

中心市街地の賑わい創出、活性化を目指し、中心市街地で新たに2号店、3号店と店舗拡大に必要な事業費を補助する。

▶ 飛騨エゴマ



▶ まちなか観光案内所



▶ 既存の観光案内サイン



いつまでもあんきに暮らせる飛騨市づくり

高齢者や弱い立場の方々の暮らしに丁寧に目を配り、お一人おひとりの思いに寄り添えるようなきめ細かな支援を行う政策を進めます



【拡充】福祉事業基金積立金 6億円

今後の和光園等の福祉施設整備事業の財源に充てるため、福祉事業基金に積み立てる。

【新規】介護ロボット導入モデル事業 300万円

介護職員の身体的負担軽減のため、市内特養が介護ロボットを試験導入する費用に対し補助する。

【新規】介護人材確保対策事業 770万円

介護人材の確保のため、短期的、中長期的な施策を重層的に行う。

- ・介護職員初任者研修実施及び、介護福祉士実務者研修費用助成・・・340万円
- ・60歳代の方の介護事業所への就労に対しシニア介護事業所就職奨励金・・・50万円
- ・市内特養の夜勤介護職の手当増額財源の一部を助成する特養夜勤者処遇改善臨時交付金・・・390万円 など

【新規】高齢者リハビリ元気推進プロジェクト事業 330万円

市内のリハビリ系通所施設の誘致に向けたリハビリ機器整備補助、及び地域リハビリ力向上のための研修等を実施。

【新規】障がい者福祉施設整備補助事業 350万円

民間事業者が行う障がい者グループホーム整備事業等に補助し、成人期以降の居場所づくりとしてグループホーム等の市内誘致を進める。

【拡充】生活道路等緊急整備事業 2億380万円

市内全域で開閉式側溝蓋の設置や市民生活道路等の緊急修繕、道の駅宙ドーム神岡の洋式トイレ設置改修など。

【新規】消防防災ヘリポート整備事業 3,600万円

神岡町内に、飛騨市民病院から県内外の専門病院への救急患者搬送等に活用する消防防災ヘリポートを整備する。

誇りの持てる飛騨市づくり

市民の皆様がふるさと飛騨市に自信と誇りを持っていただくため、飛騨市のすばらしさを掘り起こし、大いに広める政策に取り組みます



▲ドクターヘリ

【新規】ふるさと子ども大使事業 10万円

市内小学生を「ふるさと子ども大使」に任命し、地域の自慢、誇りの情報発信をしていただく。

【新規】(仮称)飛騨市ファンクラブ事業 130万円

飛騨市を愛する個人・団体と末永く交流を持てる関係を構築するため「(仮称)飛騨市ファンクラブ」を創設する。

【新規】ユネスコ無形文化遺産登録推進事業 410万円

「古川祭の起し太鼓・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録に向け、実行委員会の設立や関係自治体との連携を進め、多角的な視点から祭り文化の研究を進める。

【拡充】先端科学都市構想推進事業 1,200万円

スーパーカミオカンデ等の研究内容を展示紹介する施設整備に向けた調査・検討、研究内容を広く知っていただくためのK A G R A 見学会等を開催する。

【拡充】魅力ある地元高校づくり事業 100万円

古城高校及び飛騨神岡高校が持つ本来の魅力をPRし、市内外からの進学率向上を図る。

【拡充】旧神岡鉄道利活用検討事業 840万円

レールマウンテンバイクの渓谷コースやレールパーク構想の実現に向けた調査検討を進める。

【拡充】バリアフリーの観光づくり事業 7,150万円

バリアフリーの観光づくりの一環として、宮川町池ヶ原湿原や古川町安峰山展望台に車いす利用者でも絶景を楽しめるようユニバーサルデザインに配慮した歩道を設置する。



▲池ヶ原湿原入口



▲スカイドーム展示室